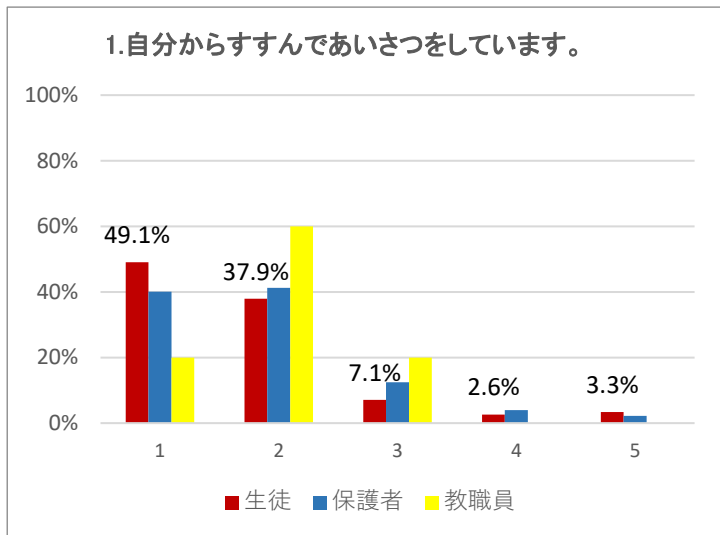


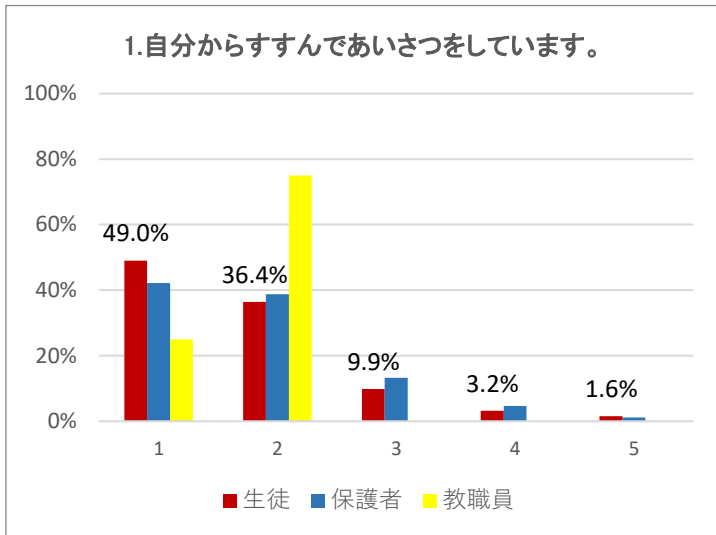
令和4年度 北九州市立横代中学校 学校評価まとめ

1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない 5.分からない

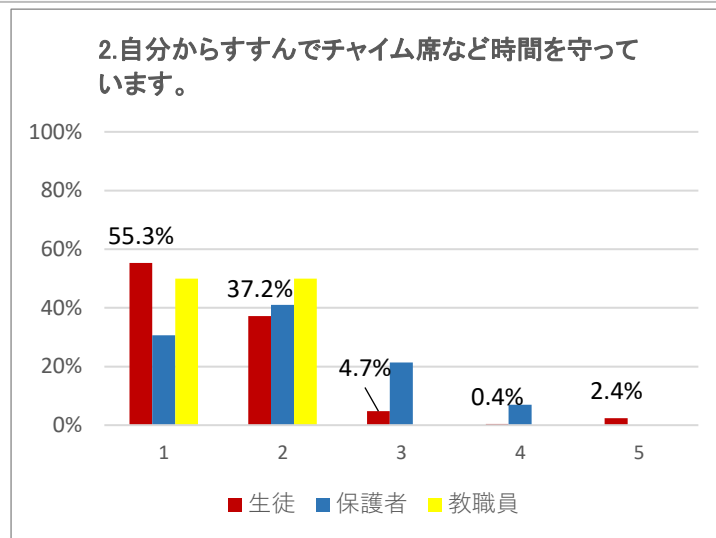
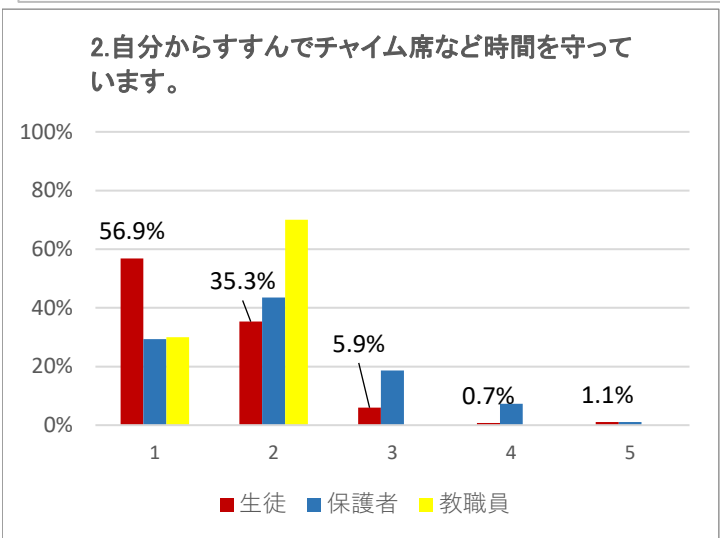
1学期



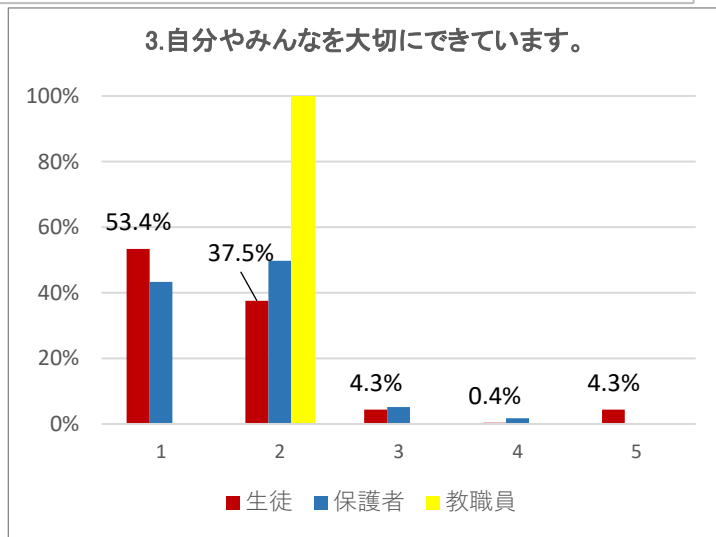
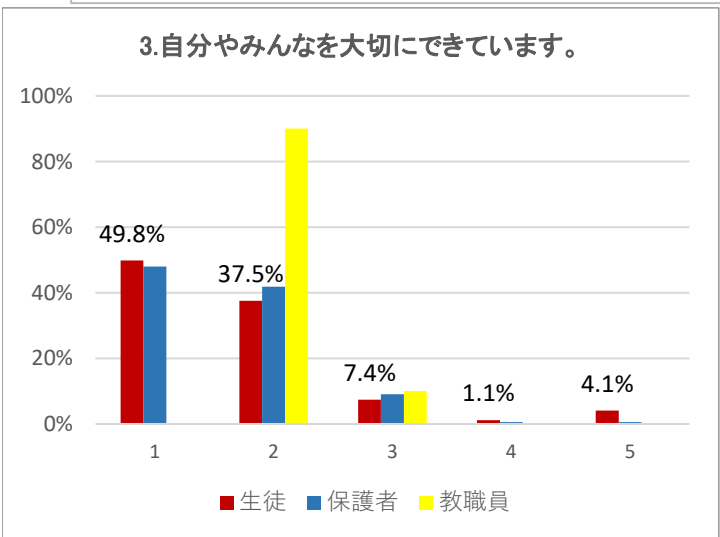
2学期



1, 2学期ともに、8割の生徒が肯定的回答をおこなっており、保護者も肯定的回答をおこなっている。自ら挨拶を行う習慣化が身についたといえる。



1, 2学期ともに、9割の生徒が肯定的回答をおこなっており、保護者も肯定的な回答をしていることから、「きまりを守ることが当たり前」という雰囲気が強くない影響を与えている。

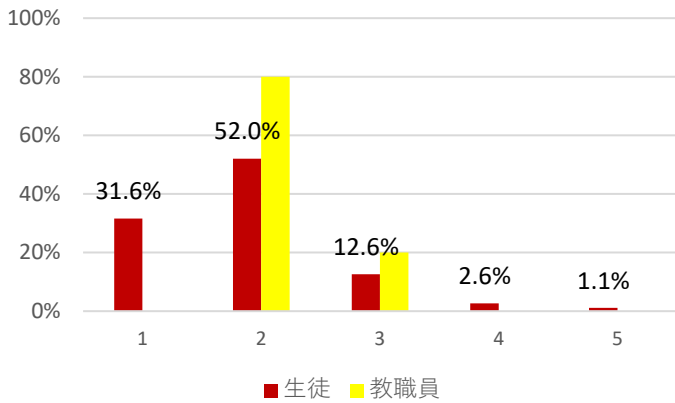


7割の生徒が肯定的回答、9割の教職員が肯定的回答している。教職員の割合と生徒の割合に差が見られるが、心の育ちを意識した指導の継続が大切である。

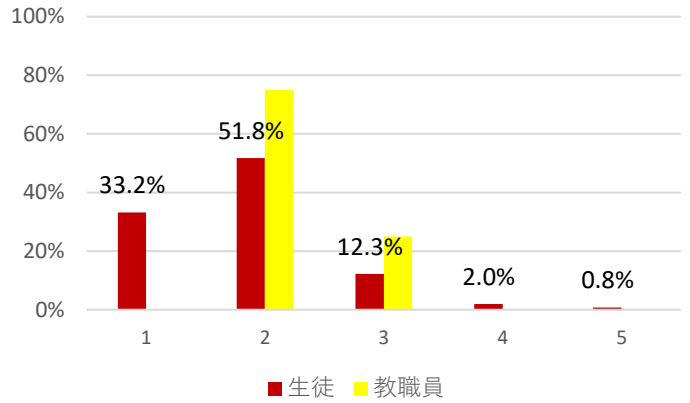
1学期

2学期

4.授業中、先生の話をしっかり聞くことができます。

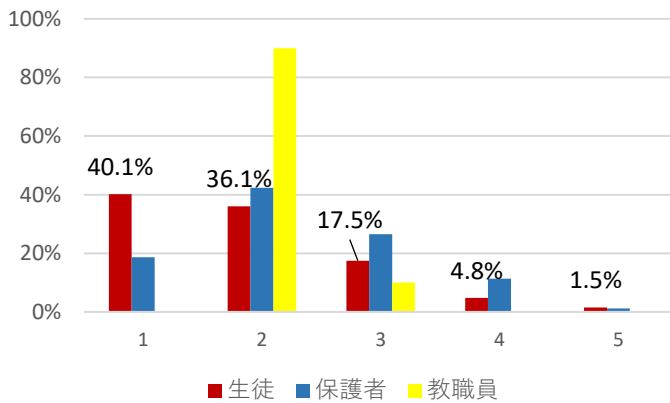


4.授業中、先生の話をしっかり聞くことができます。

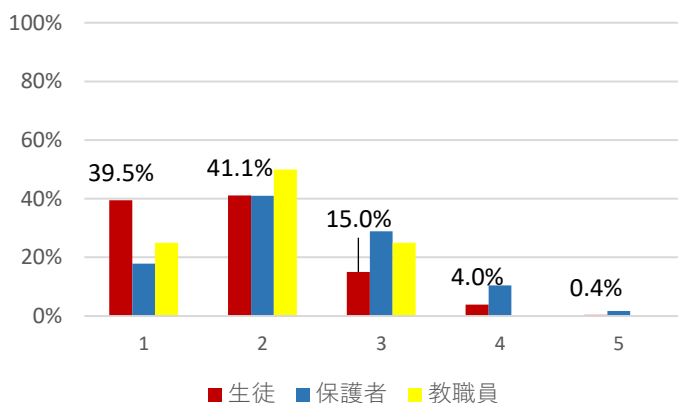


生徒、教職員ともに8割が肯定的回答をしていることから、比較的落ち着いた学習環境で学んでいるといえる。

5.授業の始まりに、学習の準備がきちんとできています。

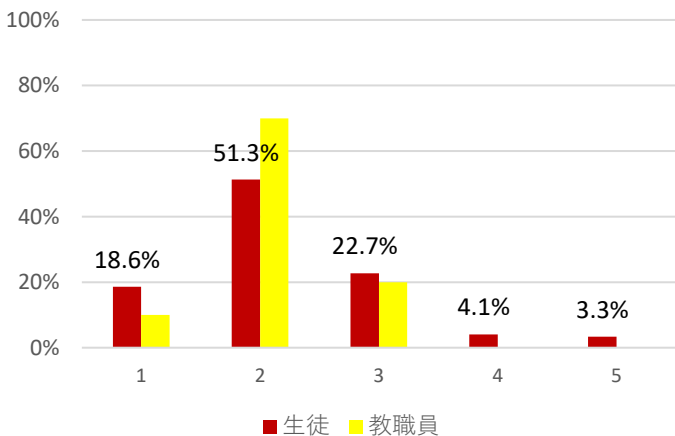


5.授業の始まりに、学習の準備がきちんとできています。

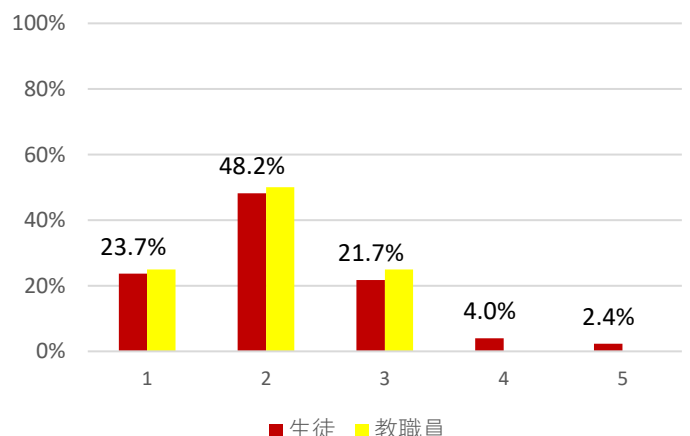


生徒7割が「準備が出来ている」と回答、教職員9割が「生徒は事前に準備が出来ている」と回答。差はあるが、比較的学習環境が整っているといえる。

6.授業中正しい姿勢で学習できています。



6.授業中正しい姿勢で学習できています。

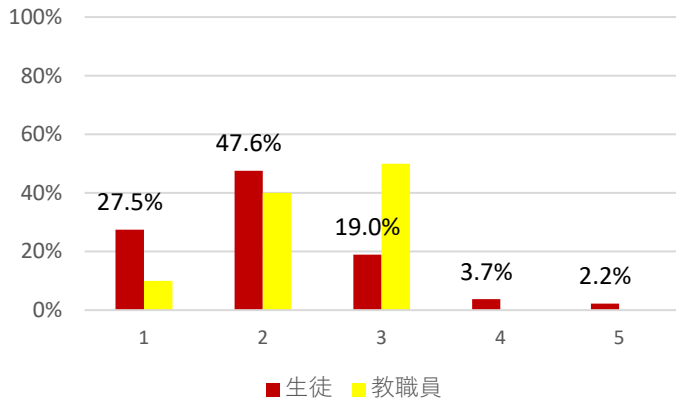


6割の生徒が「正しい姿勢で学習している」と回答をしている。教職員が授業を受けるときの姿勢を継続的に指導することが生徒の割合を伸ばす要因となる。

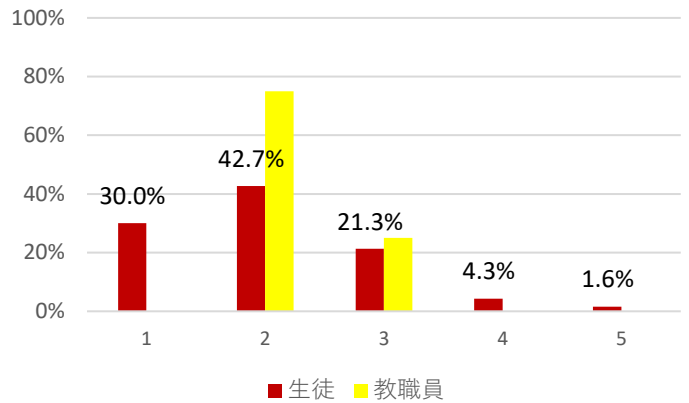
1学期

2学期

7.授業中、課題に対して、自ら考え、意欲的に取り組んでいます。

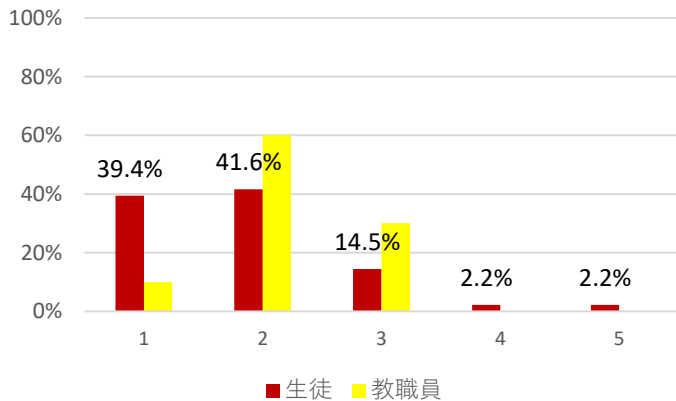


7.授業中、課題に対して、自ら考え、意欲的に取り組んでいます。

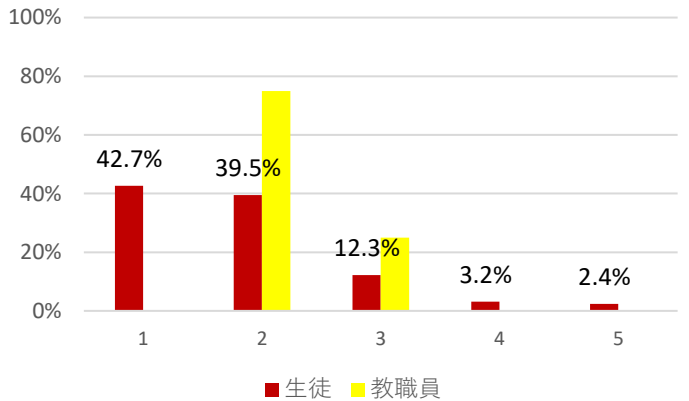


生徒の回答では、7割が肯定的な回答している。具現性をもたせる教科指導がこれから必要となる。

8.授業中、クラスの人と話し合い活動をよく行っています。

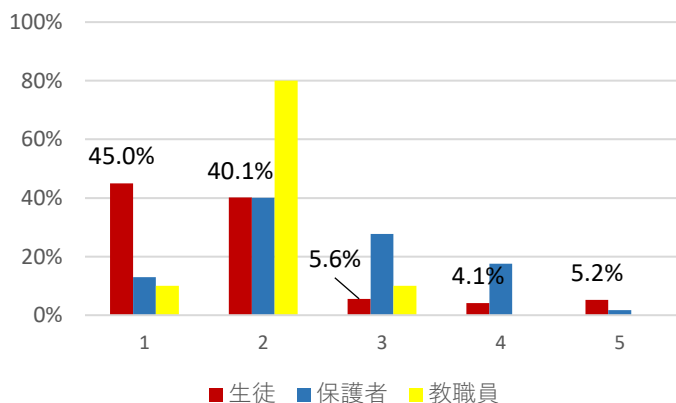


8.授業中、クラスの人と話し合い活動をよく行っています。

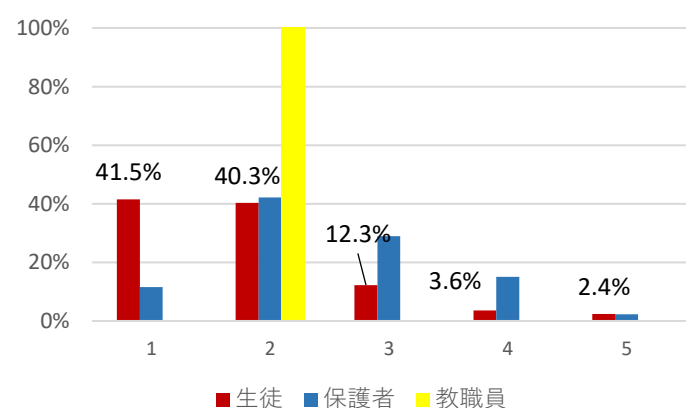


8割の生徒が肯定的回答をしている。教科で「話し合い活動」をおこなっている結果であり、対話的で深い学びが行われているといえる。

9.先生は、わからないところをわかるまで教えてくれています。



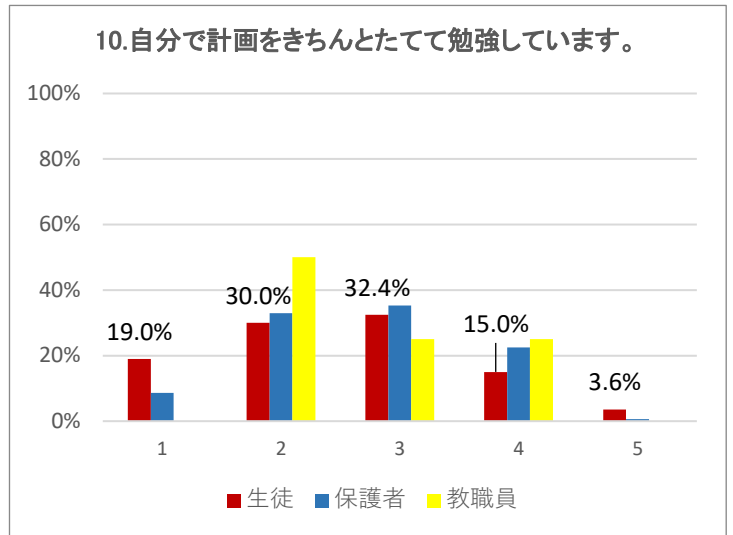
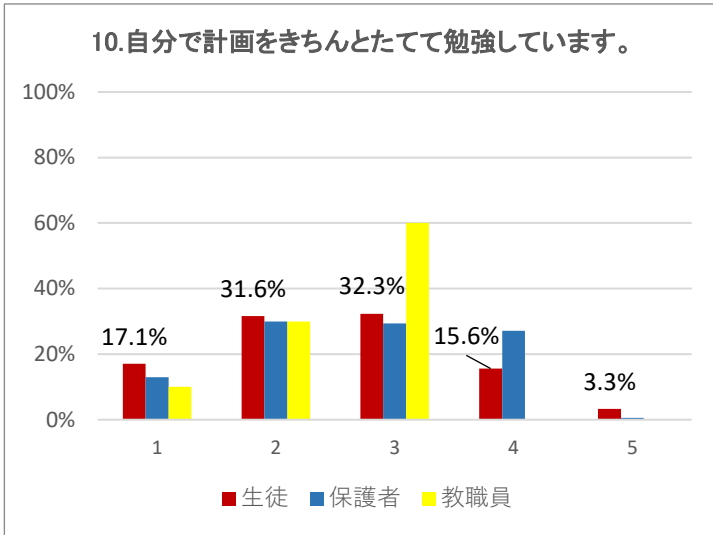
9.先生は、わからないところをわかるまで教えてくれています。



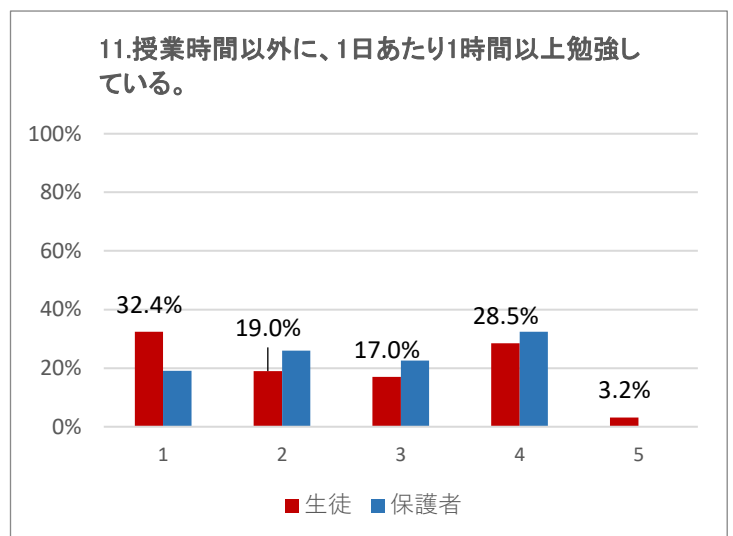
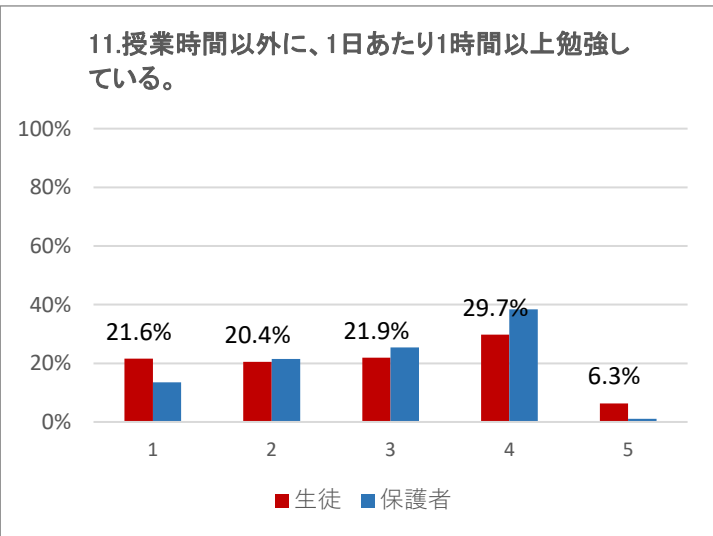
この取組は、学力向上の大きな柱である。肯定的回答した生徒は8割である。教師による生徒一人ひとりに寄り添った指導が行われている結果といえる。

1学期

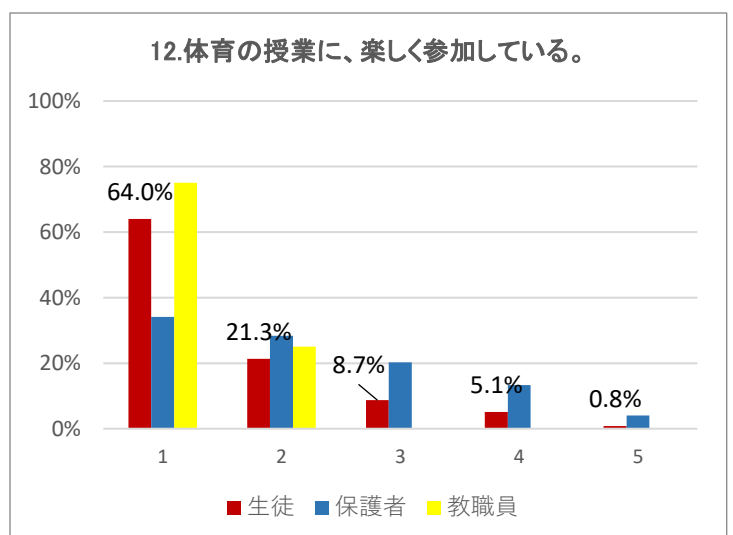
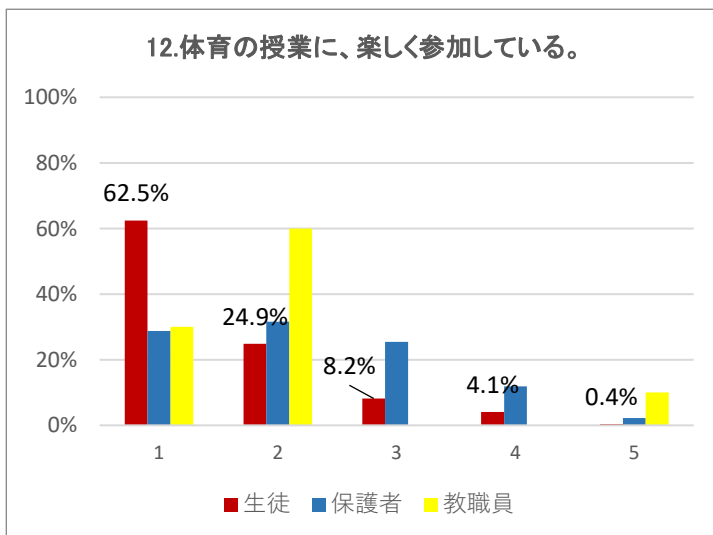
2学期



肯定的回答が4割と低く、自分で計画をたてて勉強に取り組んでいないことから、教師側による定期考査等での計画表作りの働きかけと、しっかり確認する必要がある。



1時間以上勉強している生徒が4割と低いため、計画をきちんとたて、継続的に勉強することが学力向上につながることを指導する必要がある。

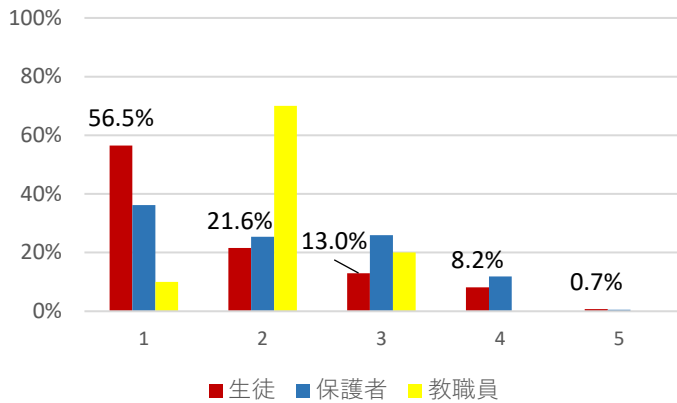


8割の生徒は肯定的回答をしている。体育が好きな生徒が多いといえる。

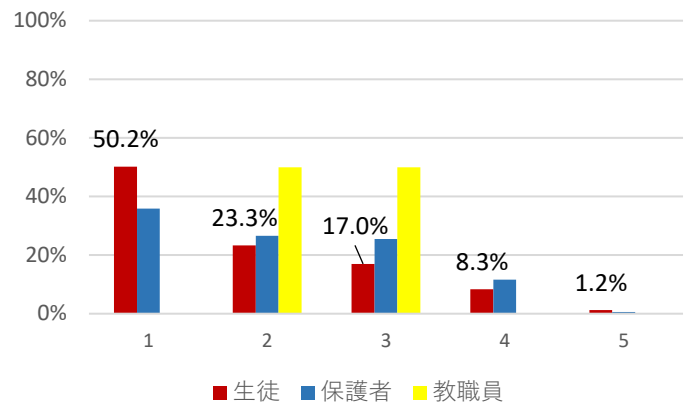
1学期

2学期

13.体育の授業や授業以外でも積極的に運動しようとしています。

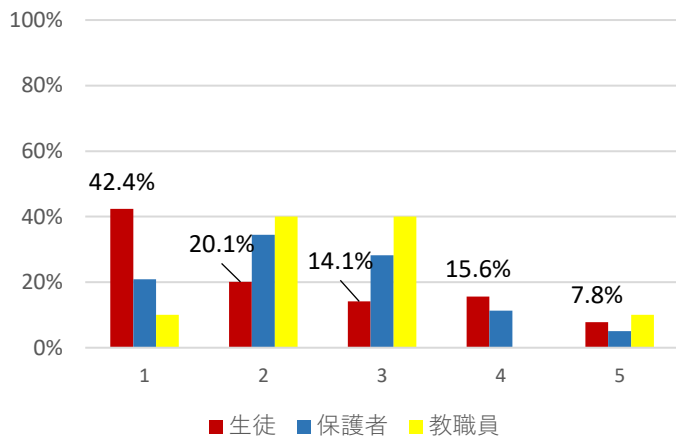


13.体育の授業や授業以外でも積極的に運動しようとしています。

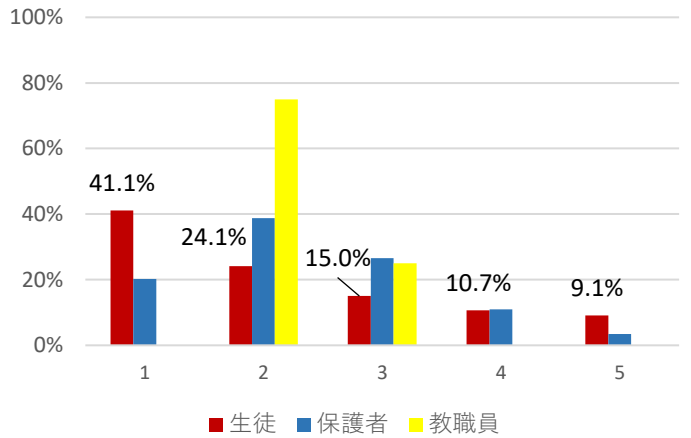


7割の生徒は肯定的回答をしている。比較的運動をする生徒が多いといえる。

14.将来の夢や目標をもっています。

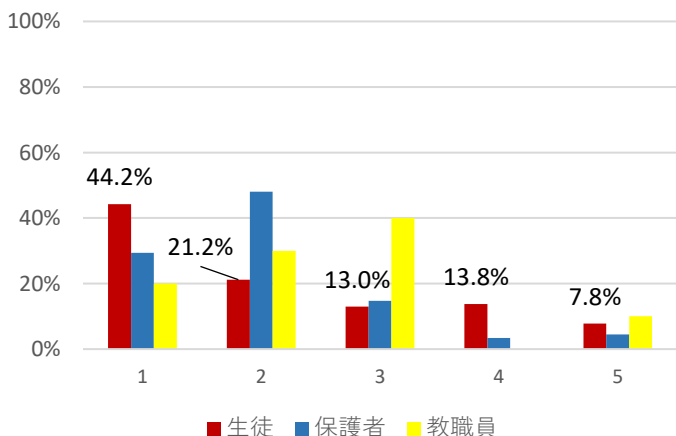


14.将来の夢や目標をもっています。

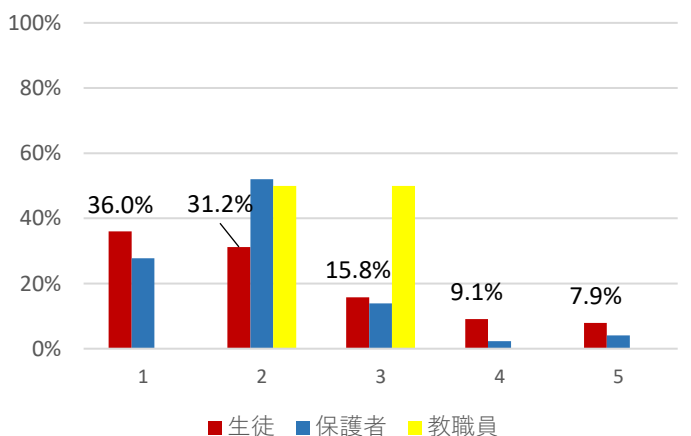


将来の夢や目標をもっていると回答した生徒が6割であり、進路指導、総合学習等で夢や目標もたせるような生徒への声かけや対応の丁寧さが、生徒の割合を伸ばす要因となる。

15.自分には、良いところがある。

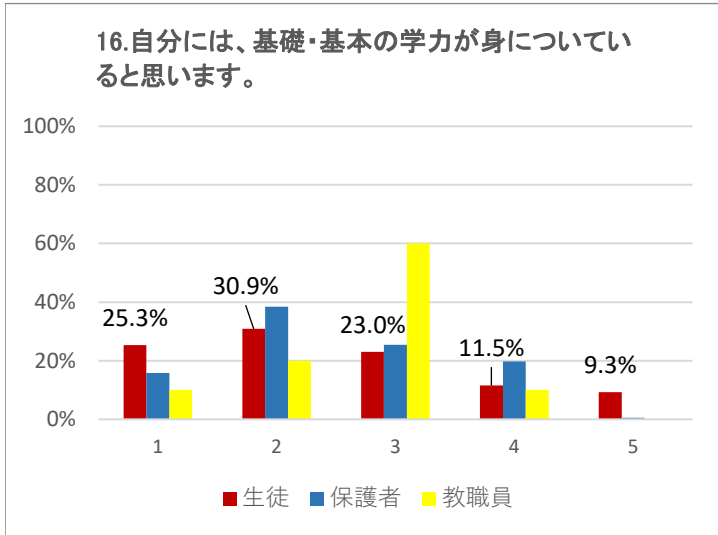


15.自分には、良いところがある。

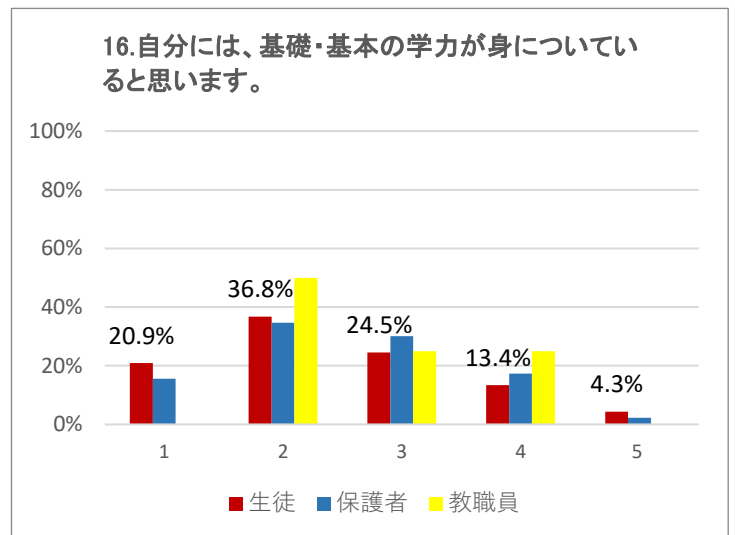


肯定的回答をしている生徒は5割、保護者は7割であり、保護者と教師側が連携を図り、生徒の良さを引き出す声かけや指導が必要である。

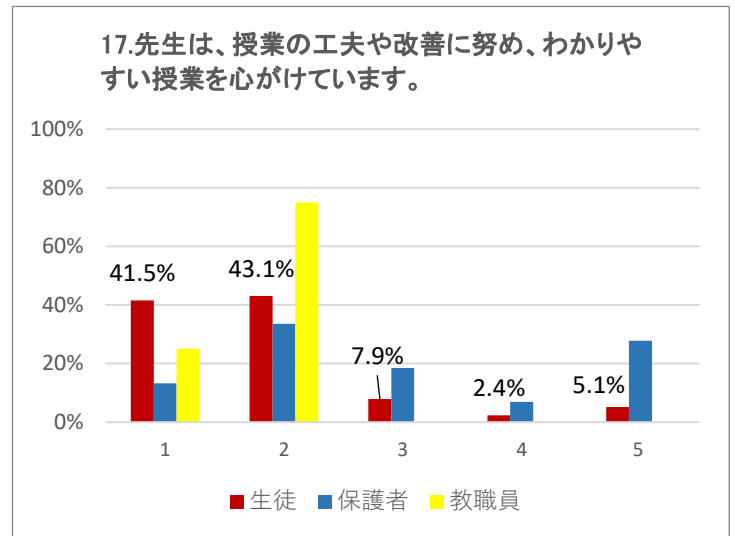
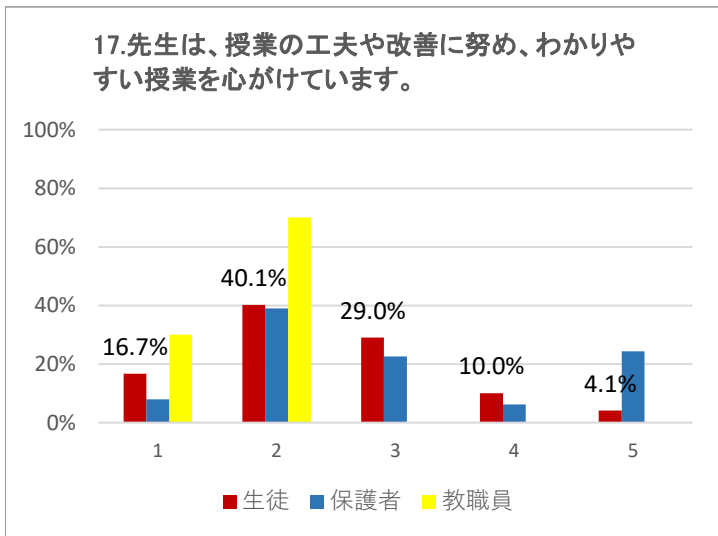
1学期



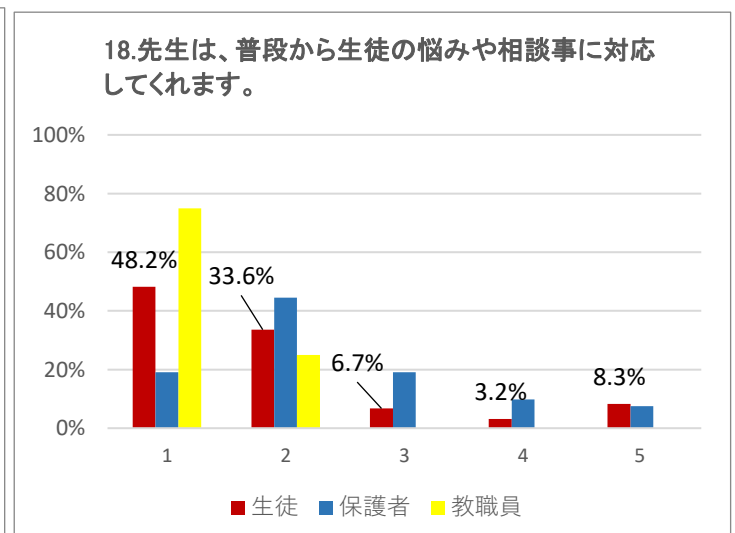
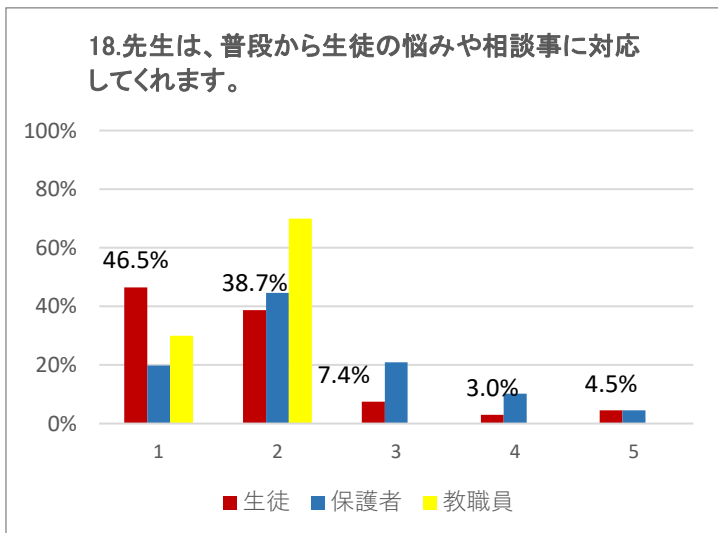
2学期



肯定的回答の生徒と保護者ともに5割と低いことから、教職員が教科や単元によっては復習から取り組ませるなどの工夫がこれからも必要である。



肯定的回答が1学期よりも2学期が向上している。教職員の教材研究、研究授業等での助言をもとに、授業、指導方法の改善を行ってきた結果といえる。



8割の生徒は肯定的回答をしている。普段から生徒と教職員との信頼関係が築けているといえる。